

1 学校評価アンケートの概要

- ・ 学校評価アンケートは、本校において今年度の教育活動の成果と課題を確認するとともに、結果に基づいて今後の学校運営の改善や教育水準の向上に資することを目的に行うものである。
- ・ 学校評価アンケートに係る調査対象と回収率、回答方法等については、本校のホームページにある学校評価アンケート結果を参照。
- ・ 昨年度の結果と比較して10ポイント以上減少している項目が1項目みられたが、それ以外は概ね良好な結果が得られた。ただし、肯定的な評価が90%以上得られていても、否定的な評価が5%以上みられる項目もあり、それらについて以下のような分析とともに今後の方向性を提示した。

2 各重点目標に係る評価の結果と分析

以下は学校評価アンケート結果において、否定的な評価が5.0%以上の項目のみを表示。それ以外のアンケート結果については、本校のホームページを参照のこと。

■ 重点目標 I「児童生徒のニーズに応じた教育の実践と授業力・専門性の向上」

(1) 生徒

すべての項目において100%の肯定的評価である。

(2) 保護者

Q1 『学校は、お子さんの実態に応じた授業を適切な体制で行っていると思いますか』

肯定的な評価 93%

否定的な評価 7%

⇒ 学校側が捉えている生徒の実態や目指すべき目標と保護者が考えている実態や目標との間に差異が生じている部分もあると考えられるため、懇談の機会等を利用して丁寧に説明しながら差異が生じないように確認しながら取り組むことが必要であると考え。

Q2 『学校は保護者の意見を尊重しながらお子さんの「個別の指導計画」を作成し、適切な支援を行っていると思いますか』

肯定的な評価 93%

否定的な評価 7%

⇒ 授業の内容や支援に関わる要望をいただいているが、学習活動やそれぞれの授業のねらいを丁寧に説明することが不足していたことからの意見であると考えられるため、Q1同様に機会を設けて丁寧な説明をしていくことが求められていると考える。

(3) 職員

Q2 『本校では、「個別の指導計画」を十分に生かした指導が実践されていると思いますか』

肯定的な評価 92.9%

否定的な評価 7.1%

⇒ 児童生徒一人ひとりに応じた「個別の指導計画」は作成されているものの、それを基にした集団で活動する際の確認(目標、手立て、評価方法等)に十分な時間をかけられていないこと等に関する反省が出されていたため、今後は十分な活用に結び付けられる実践を積み重ねていくことが必要になる。

Q3 『本校では学校間接続を含めた連続性・一貫性のある学習計画や授業内容の充実を図りながら、児童生徒主体の授業づくりを進めていると思いますか』

肯定的な評価 92.9%

否定的な評価 7.1%

⇒ 各学部においては、本校の教育目標や学部目標の達成に向け学習に取り組んでいるが、実際の教育活動の場面では、学部間の接続が見えにくかったり、授業計画を作成する際に確認が不十分だったりすることが多かったと思われる。今後は、その点を十分に意識しながら計画を立てて学習活動を実践していくようにしていきたい。

■ 重点目標Ⅱ「発達段階に応じたキャリア教育の充実」

(1) 生徒

すべての項目において100%の肯定的評価である。

(2) 保護者

Q3 『学校は、進路指導にあたり、お子さんや保護者に対して十分な情報を提供し、適切にアドバイスを行っていると思いますか』

肯定的な評価 94.4%

否定的な評価 5.6%

⇒ 学校側で提供している情報について、十分ではないと感じている保護者の方もみられるので、どのような情報提供を必要に感じているのかを、より丁寧に聞き取りながら可能な限り要望に応えられるようにしていきたい。

(3) 職員

すべての項目において肯定的な評価が高く概ね良好である。

■ 重点目標Ⅲ「地域連携に基づいた教育活動の充実とセンター的機能の充実」

(1) 生徒

Q4 『あなたは、他校との交流や地域の行事に参加することが楽しいですか』

肯定的な評価 93.1%

否定的な評価 6.9%

⇒ 他校との交流が楽しいと感じる生徒が多数であるが、慣れない友達との関わりにおいては、緊張してしまい苦手と感じる生徒もいる。そのため、実態や特性に配慮した無理のない参加の仕方を工夫したり、関わり合いの良さや楽しさを感じることができる場面を設定できるよう配慮しながら取り組めるようにしていきたい。

(2) 保護者

Q5 『学校は、ご家庭の困り感、お子さんの困り感を理解しながら、福祉サービスや医療、行政などと連携を図り相談に応じていると思いますか』

肯定的な評価 88.2%

否定的な評価 11.8%

⇒ 家庭や児童生徒の困り感に対して必要に応じて関係機関と連携をとりながら支援会議等を実施している。その結果について、家庭や児童生徒が十分に納得のいくものになっているのかどうかを常に確認しながら丁寧に進めていくことが望まれる。

(3) 職員

すべての項目において100%の肯定的評価である。

■ 重点目標Ⅳ「健康・安全教育の推進といじめ対策組織を中核とした未然防止の徹底」

(1) 生徒

Q6 『あなたは、学校給食に満足していますか』

肯定的な評価 86.2%

否定的な評価 13.8%

⇒ 今年度から釜石市の給食センターを利用させていただいており、温かくておいしい給食を提供していただいている。しかし特に一部の高等部の生徒にとっては食事の量が少ないと感じていたり苦手なパン食の頻度が多かったりすることで全体の肯定的評価が下がっていると思われる。市内の学校との関わりがあるので、本校だけに配慮をもらうことは難しいが、今後も生徒の要望に耳を傾けつつ健康面を考慮した適切な食育を推進していきたい。

(2) 保護者

Q8 『学校は、いじめの早期発見や未然防止のための取組を適切に行っていると思いますか』

肯定的な評価 93.9%

否定的な評価 6.1%

⇒ 肯定的評価は高いものの、学校での具体的な対応の様子が見えにくかったり分かりにくかったりすることもあると思われるので、機会を見つけて丁寧に説明することを心掛けていきたい。

(3) 職員

すべての項目において肯定的な評価が高く概ね良好である。

■ 重点目標Ⅴ「防災・復興教育の推進」

(1) 生徒

すべての項目において100%の肯定的評価である。

(2) 保護者

すべての項目において100%の肯定的評価である。

(3) 職員

Q15 『本校では、地域の環境を理解する教育活動に取り組みながら、自己有用感を育む復興教育が十分に行われていると思いますか』

肯定的な評価 92.9%

否定的な評価 7.1%

⇒ 学校が昨年度移転したことにより、まだ地域の環境理解も進んでおらず十分な関わり合いがもてていないことは今後の課題である。次年度から学校運営協議会も導入されるため、積極的に地域との関わり合いを大切に活動に取り組んでいきたい。

■ 重点目標Ⅵ「その他」

(1) 生徒

Q11 『あなたは、学校が楽しいですか』

肯定的な評価 86.2%

否定的な評価 13.8%

⇒ 生徒の中には、交流の項目でもふれたように人との関わりにおいて緊張したり、学ぶことが多く楽しむ余裕がないと感じている生徒もいる。そのため、そのような生徒の思いに寄り添ったり興味関心のある題材を有効に活用したりしながら、学ぶことの面白さや「できた」や「やれた」を実感し達成感をもたせられるような学習活動の展開を工夫していけるよう検討していくことが求められる。

(2) 保護者

すべての項目において肯定的な評価が高く概ね良好である。

(3) 職員

すべての項目において100%の肯定的評価である。